

「気づき・考え・行動する」

役職定年を迎えた令和7年、それ以降の働き方をいろいろと考えていたところ、若い頃からお世話になっていた方から、「日本赤十字社三重県支部に来てほしい。」というお声がけをいただきました。36年間の教職生活を定年延長し、引き続き教職生活を続けるという選択肢もありましたが、私は、新しい道を選ぶこととしました。

日本赤十字社三重県支部では、月16日勤務の嘱託で、青少年赤十字活動を担当しています。青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開していると聞き、仕事に対するやりがいを感じることができました。

入社して3ヶ月ほどがたちましたが、一番大きく変わったことは、今まで背負ってきた重責から解放され、24時間携帯電話を気にする生活ではなくなったということでした。しかし、教育現場と共通するところもあり、それは、青少年赤十字の様々な活動を通して、子どもたちに、「誰かに言われたからやる」のではなく、自らの力で、「気づき・考え・行動する」ことの大切さを伝えていくということです。

微力ではありますが、一人でも多くの子どもたちに伝えられるように取り組んでいきたいと思っています。

津市 金児正嗣